

教育目標：立志鍛錬の校訓のもと、地域リーダーとしての誇りを持ち、向上心に溢れ、協働性を備えた人材の育成					
目指す学校像：生徒の進路目標に全力を尽くす学校					
重点目標	具体的項目(PLAN)	方策・手立て(DO)	学校自己評価(CHECK)	評議員評価(CHECK)	結果の考察・改善(ACTION)
Ⅰ 学習指導の充実と進路希望の実現(教務)	①基礎学力の定着 ②ICTを活用した授業の研究・推進	①授業時間確保のための時間割調整 観点別評価に対応した問題作成 ②月曜6限放課による生徒の学習時間確保 生徒1人ひとりを大切にした授業 ③ICT機器の積極的利用と設備の充実	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・行事により授業ができない場合や教科からの要望を聞き、できるだけ授業の振替や時間割の調整をしている。自習が出来ないように心がけている。 ・定期考査、実力考査とも知識技能、思考判断表現といった観点を意識する問題を作成する中で、授業においても3観点を意識することになり、授業力向上につなげている。 ・3年生を中心に進路目標に向け1人ひとりを大切にした指導を行っていただいた。また、学習が苦手な生徒に対しても丁寧な指導をしていただいている。 ・指導教諭による「生徒の思考力向上に向けた取り組み」として英語ディベートの授業を行い、先生方にも授業参観を案内していただいた。 ・県指定の取組で、英語科がICTを利用した新時代に対応した教科横断的または探究的観点を取り入れた授業に取り組んだ。また、研究授業の際は他教科の先生方も積極的に参観した。 ・新しい採点システムを利用することで、採点時間の短縮を図れるか検証中。 ・100周年記念基金より大型モニターの設置をしていただいた。残りの特別教室にも今後設置できるとよい。
(進路)	③学びに向かう主体的な学習姿勢の確立 ④キャリア教育の充実 ⑤進路目標に必要な学力と学び続ける姿勢	①2年保護者進路後援会(6月), ・3年保護者進路講演会(6月), ・共通テスト受験者・保護者進路講演会(9月), ・小論文講演会(3年:7,1月)(2年:7月) ②・職業研講話(1,2年)企業体験学習・地域巡検(1年) ・1,2年大学出前講座(国公立大学中心)	3.5	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究や探求活動、大学でのセミナー等への参加が増え、職業観や進路意識の向上につながった。 ・キャリア教育や進路学習では地域やOBの支援のもとで充実した。今後も課題解決に向けて生徒の計画的な取り組みと考察や分析力を深める工夫が必要である。 ・課外改善2年目であった。推薦指導では難関

		<ul style="list-style-type: none"> ・校外進学ガイダンス(体育コース・1年)(普通科) ・課題研究発表(3年:県, 1, 2年:校内) ③・学力検討会(年3回) ・自主的学習と全職員による推薦入試指導の充実:9~10月推薦受験指導期間による3年課外中止(志望理由, 小論, 口頭試問, 面接, 討論指導等) ・大学別オーブン模試(3年:7, 8, 10, 11月) 			<p>大学に挑戦者が増えた。合格率は33%であったが、その後の学習に自主的な取り組みがあり、一般受験で合格した。今後は、生徒が学習する自習室の教室確保が必要になる。</p> <p>・新課程入試初年度で情報が増え、思考力の問題への対応など多様化してきた。進路目標達成に向け、ハード面の支援とオンラインに対応した機器の充実も必要である。また、教員の指導力向上に向け研修の機会を増やすなどと指導法の工夫改善に取り組む。</p>
2 良好的な人間関係構築と生徒活動の充実(生指)	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的生活習慣の確立 ②思いやりの心や自己肯定感の育成 ③学校行事を通した生徒の主体性の育成 ④部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ①登下校や集合時間の時間厳守 ②支援学校との交流・ボランティア活動参加への呼びかけ、こばやし熱中小学校との連携 ③生徒会活動の活性化 ④部活動活性化 	3	3.3	<p>①昨年度に比べて生徒の登校時間は全体的に早く、遅刻する生徒は少ない。一日のいいスタートが切れるよう全職員で生徒を迎える。</p> <p>②各種ボランティア活動の募集に対して、積極的に参加していた。支援学校と交流ができるようになった。宮崎こばやし熱中小学校、小林まちづくり株式会社、市社会福祉協議会等との連携を行った。今後も連絡や報告は丁寧に、信頼関係を大切に連携する。</p> <p>③秋桜祭をはじめ各行事において、生徒会役員及び実行委員、生徒会担当の先生方の指導で大きな盛り上がりとなった。特に秋桜祭ではキッチンカーを呼ぶなど地域貢献にも着手した。生徒の主体性が培われた。各専門委員会の活動内容をより明確化し、各委員が日常的・継続的に活動するよう整備していく。</p> <p>④部活動生集会では3年生が進路実現までを話す場面もあり効果的であった。学習と部活動の両立が実現のために最大限のサポートをしていく。</p>
3 保健・環境の充実(教頭)	<ul style="list-style-type: none"> ①自己管理能力の育成と教育相談体制の充実 ②教育活動における事故の未然防止 ③校内美化活動の充実 ④防災意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①保健委員会の活動の充実。SCやSSWとの連携 ②行事等での健康観察の徹底 ③日頃の清掃活動の徹底。PTAとの連携による校内美化清掃 ④年2回の防災訓練 	3	3.5	<p>①保健委員会が毎日お昼の放送で換気等の投げかけをおこなった。また、今年度よりSCとSSWが配置され、生徒や保護者に対しての活用があった。</p> <p>②各行事における健康観察の徹底ができた。特に体育大会や駅伝大会等においては事前アンケートも実施し、生徒の状況を把握できた。</p> <p>③8月末に実施されたPTAとの校内美化清掃</p>

					では、全校生徒も参加して実施できた。保護者の協力で安全に体育大会を実施することができた。 ④年2回の防災訓練では、生徒も迅速な行動ができていた。また、消防士や校長の講話で災害時の行動など災害対応の講話を聞くことで意識の向上が図れた。来年度は避難訓練の前の事前学習を実施していきたい。
4 保護者や地域から信頼される学校 (教頭)	①計画的・戦略的広報活動の充実 ②家庭・地域・同窓会との連携 ③危機管理意識の高揚及びコンプライアンス遵守 ④PTA各種委員会活動の充実 ⑤職員の働き方改革の推進	①PR委員会やみらい会議での取組 ②マチコミ、Classi、公式SNS等を活用しての家庭との連携。学校外活動の推奨 ③コンプライアンス研修や定期的な通信の案内 ④PTA役員会・三役会の充実 ⑤ミライムやワークフローによる勤務時間等の管理	3.5	3.6	①パンフレット作成やポスター作成に関してはPR委員会が担当し、中学生学習会など中学校との交流等はみらい会議が担当することで仕事の分担ができ、充実した取組になった。 ②欠席連絡などはClassiで実施することが徐々に定着してきた。また、学校の行事の様子や緊急連絡などはマチコミを活用し、学校での様子などは本校の公式SNS(インスタグラムやFB)、HP等を活用して発信できた。 ③各学期終了前の職員会議において、職員の服務に関する研修をおこない、県から発信される「コンプライアンス通信」を全職員に周知することでコンプライアンスの意識向上に努めた。 ④今年度はPTA朝の挨拶運動、PTA校内美化清掃、PTAの受験生激励会(カツカレー)などを実施することができた。PTA三役会の定期的な開催で様々な行事等の確認ができる。 ⑤ミライムで全職員の勤務時間を把握しているが、なかなか先生方の勤務形態を大きく変化させるにはいたらなかった。